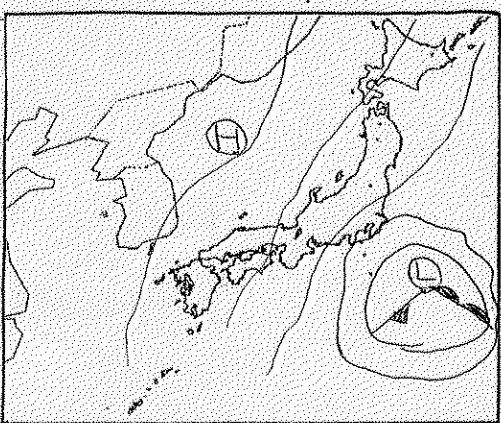


JA2447

# BLUE THERMAL 2008 No. 3

担当:  
法政大学2年 森永高広  
青山学院大学2年 原陽介  
立命館大学2回 上河 聡

ブルサーマル編集局  
新橋納庫3F. 整備研修室  
暴露爆笑ネタ随時募集中!!

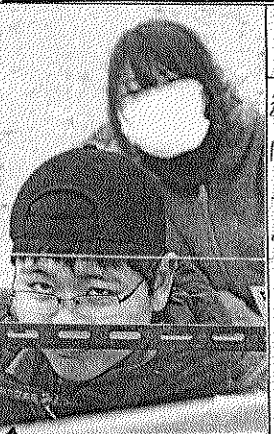


## 来た甲斐があったぜ!!

今日は、東上線が狭くなるため、田中は、風が強くなるでしょう。最高気温が、10°となり、低減率が、0.8となり条件が違くなりそうです。

背風待機中、受機 Discus た土下座に願いをかけると大村選手、祈りが通じ、その後周回。の空が熱くなった。龍谷B・船越選手が、ウチ上空、570m でサマルにヒート、1400m まで上昇し、千代田上空で大荒れた。も上に雨も降り出し、飛び前は就活の面接より緊張した、という大変なフライトを果し見事サマリ1位。慶応A・増田選手は、P.W. 横川川でヒート、400m から、500m まで上昇した。200km/h でクルーズ、ラフエアが怖かった。そんな中、どこも音響などは一面も垣間見え、選手の役割を果したとは言えない。最初のタイムで待ちはた聞西の受機や、早稲田の西野選手に敬意を表す。あ、慶応の、豊田選手も上げている。と語る。東海6・小寺選手は、田中、445で、800m から、1100m まで上昇した。エルサで、雨も少しが降ってきた。6の羽布がああ!! 日法政A・柳澤選手、田の等々千代田上空で、旋回して、650m ~ 800m まで上昇のし、上がり、少し羽布がふたふたと来た。万全を準備した。と、ともかく、青島B・青山選手は、田中、490m までヒート、1000m まで上昇、そして、早稲田の小林選手(HT)が、先頭を走った。

### 地上の星



地上の星を紹介おこなう。第1回は「中間点」。仕事の醍醐味は、一画の競技の中、選手は、コートに最後にOKです、と伝えられること。苦痛は、ゴール間まで機体を仕掛けて待っている。選手は言、"エルサ前2kの無線を聞くと気がひけます。" "U. No Good, Negative" 等のひびき。

### 本日の結果と本日まででの総合成績

測定器から鋭い眼光を光らせる。龍谷大学の栗村将永氏。その背中を、法政大学1年生、西島嘉奈子氏が濡れ羽子。

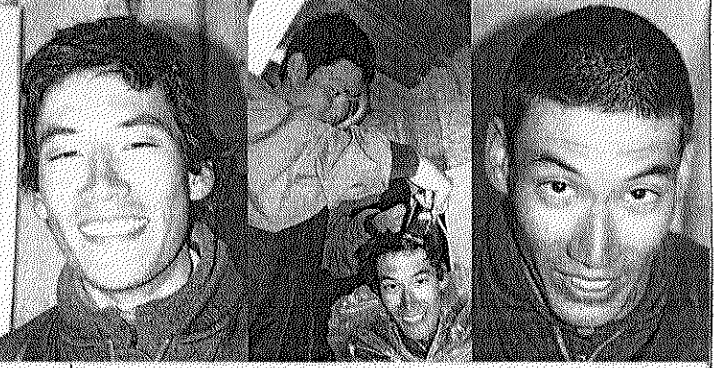
個人デリー
1. 原陽介選手 (龍谷B) 1000点
2. 増田 聖 選手 (慶応A) 954点
3. 小寺 俊之 選手 (東海6) 866点
4. 柳澤 知則 選手 (法政A) 846点
5. 青山 承 選手 (日大B) 835点

団体デリー
1. 龍谷 B 1000点
2. 慶応 A 954点
3. 東海 6 866点
4. 日大 B 835点
5. 同志社 B 795点

個人総合
1. 小寺 俊之 選手 (東海6) 1.815点
2. 柳澤 知則 選手 (法政A) 1.672点
3. 森田 葵 選手 (早稲田B) 1.600点
4. 西野 純貴 選手 (早稲田A) 1.599点
5. 中村 友洋 選手 (名大Discus) 1.564点

団体総合
1. 慶応 A 2.077点
2. 東海 6 1.815点
3. 早稲田 B 1.600点
4. 早稲田 A 1.599点
5. 名大 Discus 1.564点

### ウィルビー Before → After



昨年度の個人優勝の立命館大学のウィリーさんと片岡優司選手は、昨日の成績不振の責任を取り、断髪を試みた。最初カバリカンで刈り上げたが、詰まってしまう為筆者が貸出したハサミ(2本)を使用した。一時断髪は同大学4年の川端さんと筆者までを含め計3名で行なった。残りの1人上の写真でバリカンを操るのは、昨年度の新人戦のやさし王子こと、法政大学の日向野有仁である。片岡選手は刈りた後、"これで滑空比が1上がる"と喜んでいたのである。(采)